

保谷二小 研究便り

令和8年 2月 4日
西東京市立保谷第二小学校
校長 齊藤 境栄
研究推進部

研究主題 児童の思考力が向上する指導法の研究

令和7年度は、研究主題に「児童の思考力が向上する指導法の研究」を掲げ、研究を進めてまいりました。児童に問題解決の過程を繰り返し経験させ、考える時間を十分に保障することで、思考力が向上できるような授業の在り方を考えます。今回は、令和7年度最後の研究授業でした。授業終了後の研究協議会では、思考力について思考しました。今年度の研究の成果と課題をふまえ、来年度も授業力の向上を目指していきます。

～第3回研究授業 1月28日(水)～ 5年 コース 算数科 「変わり方を調べよう(2)」

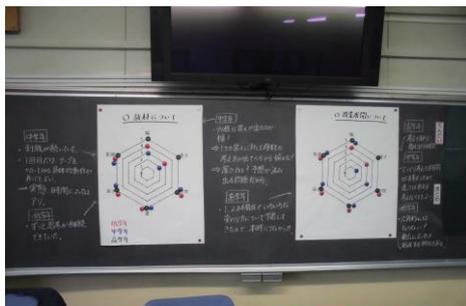
本単元では、伴って変わる2つの数量の関係に着目し、問題解決の方法を考える学習を行いました。1時間目は、2つの量が $1+3\times\square=\circ$ の関係になる学習。2時間目は、 $\square\times\square=\circ$ の関係を発見し、答えを導き出す学習でした。

本時(3時間目)の学習は、紙テープを半分
に折って、その真ん中を切ると何本になるか、また折る回数を増やしていった時にできたテープの本数の変わり方を予想しました。



課題に対して、各自予想を立てながら45分間集中して学習に取り組んでいました。

自分の考えを一生懸命伝えようしたり、教えようしたりする姿が見られました。



協議会では、本時の学習の中で、児童の思考力6項目(刺激、深さ、幅、速さ、時間、量)が、どの程度の大きさであったか検討しました。児童の思考力向上とは何か、教員一人一人がじっくりと思考するよい機会となりました。